

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東部地域療育センターぼけっと 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	2024年9月10日		～ 2025年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2024年12月5日		～ 2025年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	2024年8月26日		～ 2025年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域療育センターであるため、対象児がセンターを利用している場合、保護者の同意のもと、相談診療部や通園部と情報共有を行うことができる。また、相談支援事業所も併設している為、ぼけっとで相談支援をしている場合は、相談支援専門員とも情報共有を行うことができる。	支援開始前、計画作成時だけでなく、訪問開始後も各々の状況や課題を共有しながら多角的にこどもを捉えることができ、支援プログラムへ活かすことができている。 また、低年齢からの親子での関わりも深いため、家族支援・保護者支援にも活かされている。	引き続き情報共有を行い、必要な支援をセンターとして検討していきます。
2	訪問員に、作業療法士、言語聴覚療法士、保育士を配置し、多職種で支援を行うことで、評価や支援が豊かになっている。	保育士の訪問を中心としながら、各療法士が情報共有、必要時の訪問をすることで、支援内容の見直しを各専門性の意見を踏まえて行うことができる。	今後も、多職種で意見を出し合いながら、より良い支援へつなげていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者からの希望があった時に、迅速な対応が困難。	限られた人員のため、訪問に行ける枠数が決まっており、多数の希望があった場合に迅速な対応が困難。	引き続き保護者の要望と併せて訪問先への事前訪問を通して必要性を検討し、全体会議にて必要性の判断や必要な期間、回数を検討していきます。
2	保護者と訪問先のアンケート調査の回収率が低い。	今年度から始めたため、お願いできた対象数が少なかった。 また、訪問支援の質の向上のために必要であることをお伝えし、協力をお願いしたが、不十分であったと思われる。	より良い支援のために必要なアンケートであることを丁寧に伝えし、ご協力をお願いしていく。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 東部地域療育センターぼけっと 保育所等訪問支援事業

公表日 2025年2月21日

利用児童数 10名 2025年2月13日現在 回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境 整備 ・ 体	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	1		2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の工夫がなされていますか。	4					
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	2				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	1				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		2			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
非 常 時 等 の 対 応	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1				
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					
	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3	1				
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2		1	1		
満 足 度	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3			1		
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					
28 事業所の支援に満足していますか。	2	2			書面で都度報告があるとありがたいです。基本的に、訪問後は来所いただくか電話にて保護者の方と共有しています。また、相談や申入れにも同様の方法で応えております。書面での対応の必要性については、検討していきます。		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

東部地域療育センターぽけっと 保育所等訪問支援事業

公表日

2025年2月21日

利用児童数

10名 2025年2月13日現在 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1			
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・保護者の状況や子どもの状況を的確に伝えてくれることで、園でも保護者との関わりやコミュニケーションがしやすくなりました。また、わかりやすいアドバイスを頂き園でも活用したりし結果も少しずつ出てきているのでとてもありがたいです。				・引き続き、保護者の思いや子どもの特性や発達について訪問先とともに捉え合い、過ごしやすい環境調整や対応方法を利用施設と共有できるようにしていきます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 東部地域療育センターほけっと 保育所等訪問支援事業

公表日 2025年2月21日

		チェック項目			工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	3	・保育所等訪問が使える教具教材や公用車、備品等が明確になっているかよく分からない ・特性による個別な対応として、具体的な遊びが見つからない対象児に対して、見立てた玩具を手作りして提供するなど必要な支援を行っている	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・対象児に対して必要と思われる支援に専門のスタッフを配置できる点。(OT,STなど) ・限られた人員のため、保護者の要望と訪問先への事前訪問を通して必要性を検討し、全体会議で訪問開始の有無や時期を決定している。	・希望時に、迅速な対応をするため、引き続き必要性の判断や必要な期間、回数を検討していきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・担当のスタッフ中心にケース検討や振り返りをしながら、他のスタッフにも意見を求めて 多角的な考えや視点を得られる点。 ・担当職員と児童発達管理責任者が相談して個別支援計画の作成を行い、月に1回の会議で従事者全員でケースを話し合う場がある。また、訪問の振り返りを当センターの担当リハスタッフや心理士とも行うことがある。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・これから実施予定と把握しています ・今年度始めたところなので、業務改善につなげていきたい。	・保護者から意見をいただける関係づくりに努め、保護者向け評価表については周知を続けます。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・月一回の全体での定例会議を行い、経過、ケースの捉えや把握ができてきている点。年に2回総合的に振り返りができるように機会設定している点。 ・月に一度の短時間の会議なので、意見を出し切れていないかもしれない。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	・しているかもしれないが、私自身は第三者を把握できていない。	・第三者による外部評価の必要性について、内部で協議します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・法人内での連携会議や保育所等訪問の他事業所の交流連携をはかる研修に参加できる点。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		・他機関、他事業所との連携を図りながら、多様な情報を共有して家族支援も行いながら、支援の計画へ繋げることができる点。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	・担当者全員が関わってはいない	
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		・事前訪問で訪問先の子ども様子や先生方の思いを把握し、複数で相談しながら計画作成を行っている。 ・それぞれの関わる立場に応じて、丁寧なアセスメントを行っている点。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・アセスメント用紙は作成しているが、個々に合わせてインフォーマルなアセスメントが中心。	・アセスメント内容やアセスメント方法について協議し、より子どもの捉えを深められるように努めます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・訪問先への道中で行っているが適切かどうかは分からない ・支援開始前の打ち合わせはあるが、単独で訪問する場合は、毎回行ってはいない。	・毎回の支援開始前の打ち合わせを全員で行うことは難しいですが、必要に応じて訪問前日など時間を作って訪問員同士で話ができる工夫をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・帰り道に実施しているので適切か分からない ・車での移動時間になることも多いが、意識している。もう少し時間をしっかり設けられるといい	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・連携が上手くいっていない家庭も多いため、会議開催を提案したり、連携については力を入れている点だと感じる。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・今後の課題だと感じる。 ・ケースによっては、相談支援と連携して転園先や就学先との情報共有、連携を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		・時間の都合がつきにくい、可能な限り参加している。	・引き続き、職員の代表者で参加し、全体に内容を広めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	・相談に応じて社会資源の情報提供を必要時行っているが、事業所として機会を設けてはいない。	・家族の困難感、必要性に応じて社会資源の情報提供を行えるように努めます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・年々まとまってきていると感じる。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	・保護者同士やきょうだい同士の交流は、保育所等訪問支援の事業内容なのか疑問。	・訪問支援のため、保護者同士が交流する機会を持つことができていないが、事業所として必要な仕事であり、保護者の希望があれば、対応を検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		・相談があった場合に電話相談で対応することが主となっていますが、家庭訪問等の必要が生じた場合、対応の体制整備を検討します。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	・今の段階で、必要性がいまいち感じられない。	・必要に応じて検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設等への説明	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・支援が必要な担当外児について園より聞かれた時など、情報の取り扱いにいつも難しさを感じ	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	・作成されているかもしれないが把握できていない。	・職員間で情報共有し、改善が必要な事項については、検討します。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	3		